

事業所名

ユニバーサルスポーツLet's Try

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

1月

18日

法人（事業所）理念	笑顔をはぐくみ笑顔をつなぐ				
支援方針	保護者様の要望に応じて個別支援プログラム(オーダーメイドプログラム)の作成、実行				
営業時間	12時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・体調の確認を行い、健康状態の維持、改善を目指します。 ・生活に必要なスキルを育成し、生活習慣や生活リズムの形成を行います。 ・はじまりの会での約束唱和、日々のストレッチ、体操等のルーティン活動を通し、生活におけるマネジメントスキルの育成を行います。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動や体幹トレーニングを用いて姿勢、運動・動作の基本的技能の向上、また、困難な場合でも補助的手段の活用が出来るように支援していく。 ・身体の移動能力に必要な筋力・体力の向上や保有する感覚の向上を目指す。 ・保持している感覚特性への対応が出来るよう、代替策やスモールステップで対応力を養っていく。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知の特性についての理解と対応。・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。・行動障害への予防及び対応 ・1日のスケジュールを始まりの会にてお伝えさせていただきます。スケジュールを自身で確認しながら何をすべき時間なのか考えてもらい、適切な行動をとれるよう支援を行う。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して必要な情報を収集して認知機能の発達を促します。制作活動(クラフト、折り紙)や体遊び(マット運動、平均台)を学習プログラムとして取り入れます。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本的能力の向上。・言語の受容と表出。・コミュニケーション手段の選択と活用。・状況に応じたコミュニケーション ・困りごとや悩み事など相談しやすい環境を整え子どもたちから自発的に伝える意識を持ってもらい、誰かに伝える気持ちを育てていきます。 ・子供の発達段階に対応するコミュニケーション手段(指差し、身振り、サイン等)を選定し、環境の理解と意思の伝達出来る機会を積み重ねていけるように環境及びかかわり方の調整を実施する。また、状況に応じたコミュニケーションがとれるよう、日常の会話の中で理解を促す。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒の安定。・他者との関わり(人間関係)の形成。・遊びを通じた社会性の発達。・自己の理解と行動の調整。・仲間づくりと集団への参加。 ・集団活動の中で、他年齢と関わったりお友達と遊ぶ中で人間性を育み、SSTを用いて社会で必要とされるスキルの習得を行っていきます。 ・遊びやロールプレイを通してSSTに取り組みます。学校生活や社会で生活していくために対人関係を良好に維持する技能を身につけることを目標に行います。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着の安定 ・障がいの特性に配慮した家庭環境の整備 ・半年に行う面談、個別支援の計画共有 ・関係者、関係機関の連携による支援体制の構築 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園や学校と連携を図るために必要に応じて園や学校に訪問し支援内容等の具体的な関わり方について情報共有を行う。 ・移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達を行う。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・進学先、就職先とのミーティング ・ケース会議の実施、家庭に対して最適な支援が行えるよう、必要に応じて関係機関と連携を図る。地域支援の体制の構築のための会議へ出席。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・社内にて毎週金曜日に研修【支援、療育、書類について】を行う。また、外部研修の参加を行い、幅広い考え方や支援方法の習得。 ・毎週スタッフMTGを開催しその中で効果的な支援について具体的に話し合い、実践につなげている。 		
主な行事等	運動支援、学習支援、SST、外出行事、クリスマス会、誕生日会、夏祭り、ハロウィン、流しそうめん、作業所体験、発表会、サッカー教室、パラスポーツ、調理実習				